

『評価からはじめるまちづくり！2010』（第4グループ）

施策名	まちに活力を与える工業の振興		
対象	製造業者	成果指標	① 製造品出荷額等
意図	製品出荷額等が増加する		
参加者	佐藤 幸夫, 砂川 菜摘, 村井 研二, 佐藤 光, 磯島 龍		

グループワークⅠ

理由など	市民の評価
<p>産学官連携に取り組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学との連携は新技術の開拓にあたって効果大きい。⑤ 岩手大学との連携をどんどんやる。④ 新技術や新分野開拓を行う企業に向けた一連の支援体制が出来ている。④ 	2.5
<p>大企業の立地がない</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな企業がない。② JTが抜けた穴をいかにして埋めるか② 市場の占有率が高い企業がない。② 大企業がない。 	
<p>ハード面の設備が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業団地が少ない。ソフト産業を増やす。② ハード面の整備が難しそう。② 内陸のため立地がよくない。② 賃工場数は現状で十分な数なのか。 港、空港が遠い。② 工業団地が少ない。② 	市の評価
<p>けども成果が…</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存企業への支援が手薄ではないか。② 産学官連携等が県と重複していないか。② 産学官連携センターはPRが足りない。② 新たな事業所の誕生が見えない。(少ないのでは?)② 大学発の企業家が少ない。④ 事業所数が大幅に減少している。② 企業家大学には人がたくさんいる。 花巻の夢起業家塾のような、企業人の勉強の場が必要。② 企業も自分たちで勉強するように誘導するのも仕事 企業へのPRIはどうか。 売り込みやってるのか?① 	
<p>工業振興のイメージが湧かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の規模に対して市内の工業規模が小さいのか大きいのかわからない。 市が行っている事業について、一般に認識があまりされていない様に感じる② どんな企業が立地しているかわからない。 盛岡には工業のイメージがない。(近隣の市町村に多いような)② 	2
<p>企業、企業家への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 公害を出す工場がない。④ 	

グループワークⅡ

効果	成果指標及び課題
<p>盛岡に独自の製品、技術の開発数</p> <p>大学が他地域や他大学と連携して人を連れてくる。</p> <p>産学官連携による新規事業者の数(増減値)</p> <p>起業数(産学官連携)</p> <p>新規起業がたくさん出る。</p> <p>土地のPR</p> <p>地元に貢献したいという考えを持つ</p>	<p>廃業がなくなる</p> <p>廃業数</p> <p>既存工場の出荷額がどんどん伸びる。</p> <p>廃業を減らす</p> <p>新しいものをつくる</p> <p>産学官連携の成果の周知</p> <p>販路拡大</p> <p>PRの件数 売り込み、買ってもらおう努力</p>
	<p>起業・開発を増やす</p> <p>取組みのソフト面</p> <p>盛岡らしさ 中小企業が元気 (撤退・廃業を減らす)</p> <p>中小工場の支援 (撤退・廃業を減らす)</p> <p>ブランドイメージとしての大企業</p> <p>「まちに活力」→中小企業がんばっている方がよい。</p> <p>盛岡ブランドの工業版を創る。</p> <p>独自の技術、製品で起業する人</p> <p>大企業の利益は東京に行ってしまう。</p> <p>盛岡らしい企業</p>
<p>工業団地数</p> <p>新規立地から継続して操業している工場がいくつあるか。</p> <p>整備面積</p> <p>大きな工業団地に工場がたくさん立地している</p> <p>盛岡地域の経済に与えているプラスの効果がない</p> <p>やっぱり工業団地ハード整備は不可欠</p> <p>従業員数も大事</p> <p>工場の規模を表すものとしての従業員数</p> <p>給料が増える</p> <p>雇用形態(非正規→正規)</p> <p>就労者の満足度</p> <p>いいモノをつっている、という満足度</p> <p>雇用者数(増減値)</p> <p>従業員の増減</p> <p>多くの市民が二次産業で働いて、豊かになっている。</p>	<p>ゆくゆくはハードも</p> <p>たかさんの市民が二次産業で働いて、豊かになっている。</p>